

区 分	人 員	構 成 比
主 婦	2,284	10.0%
無 職	2,415	10.5
学 生 ・ 生 徒	8,457	36.9
小 計	22,904	100
児 童	22,307	
合 計	45,211	

〔表5〕館外個人貸出利用図書冊数

分 類 別	冊 数	構 成 比
総 記	1,533	3.0%
哲 学 宗 教	2,823	6.0
歴 史 地 理	4,254	9.0
社 会 科 学	9,662	19.9
自 然 科 学	4,712	9.7
工 学 工 業	3,688	7.5
産 業	2,292	4.6
芸 術	6,023	12.3
語 学	751	1.5
文 学	9,071	18.5
郷 土	2,774	5.6
雑 誌	1,212	2.4
小 計	48,795	100.0
児 童	72,772	
合 計	121,567	

〔表6〕入館者数・登録者数

( ) 内は児童

開 館 日 数	入 館 者 数	登 録 者 数
282 日	225,610 人	6,942 人 (5,692)

#### 4 特別貸出

図書館、美術館、博物館、資(史)料館等が主催して行う展示会や、学校、官公庁などの調査・研究用の資料として、次のとおり貸出を行った。

〔表7〕特別貸出状況

貸 出 先	件 数	冊 数
官 公 庁 関 係	27	138
図 書 館 そ の 他	51	304
会 社 ・ 事 業 所	10	41
報 道 機 関	15	26

貸 出 先	件 数	冊 数
学 校	9	18
一 般 利 用 者	42	137
計	154	664

#### 5 郷土資料

県内外の図書館や史料館等からの資料照会、調査依頼の電話・文書はますます増えているが、さらに県外郷土史家よりの調査相談、複写依頼も多くなっている。また、県文化財関係のビデオを中心にした視聴覚資料室の利用や、ボランティアの方の奉仕による対面朗読室の利用も、件数は少ないながら定着してきた。

#### 6 逐次刊行物

調査依頼の件数も増加し、内容もますます高度化した。雑誌論文、新聞記事、特許資料の調査等、数多く寄せられ、当館では対応しきれないものもあり、国立国会図書館等関係機関との相互協力により処理した。

#### 7 児童奉仕

##### (1) 児童室

子どもと本とを結びつけ、幼児期から読書のよろこびを見出し、さらに豊かな感性を養えるような新刊資料の収集を行った。特に、本年度は、紙芝居の整備充実を図った。

また、業務サービスにおいては、電算化において、検索予約業務等でサービスの向上を図った。

##### (2) 児童図書研究室

子どもの本に関心をもつ人達と、子どもの本に係わる読書施設を対象に、児童室の運営、児童奉仕の実務研究、子どもの読書に関する調査相談を行った。

本年度は、主に次の資料の整備に努め、利用に供した。

- 児童図書及び研究書に関する目録類
- 子どもの本に関するもの
- 子どもの読書に関するもの
- 児童文学、文学者に関するもの
- 紙芝居、漫画、文学教育に関するもの
- 読書指導に関するもの
- 研究素材としての児童図書

#### 8 複写サービス

最近の社会傾向により申込み件数、枚数共に前年度を上回った。新聞が最も多く、次いで郷土資料、雑誌、論文、各種事典等である。

新聞は、未マイクロフィルム化の昭和20年～40年代地元紙の複写要求が多く、破・汚損が甚しいため、今後利用に耐えられるか懸念され、縮刷版発行年前までのマイクロフィルム化が急がれる。